

# 河北新報

2011年(平成23年)

10月1日(土)

夕刊

河北新報社  
 仙台市青葉区五橋1-2-28  
 (郵便番号 980-8650)  
 電話(022)211-1111  
 総合案内 1111  
 読者相談室 1447  
 夕刊編集部 1146

# 蒲生実り塩害越えて

## 仙台の農家 期待 望み 稲刈り

が、近くの水田は数日置水  
 し、塩分を含んだドロを分  
 けたい積りた。さらに作付  
 の最大のネックになったの  
 は、沿岸部にある農用水の  
 排出ボンプ場の被災った。

な自身への計画すら、  
 権えた。品種による塩害の  
 避いを願うため、ササニ  
 キ2号、ひとめぼれ1号等、  
 まなぶすめり、日本晴に  
 つぼ(はれ)2号とした。

9月28日、宮城野区蒲生小望の稲刈りを始めた。毎周年するが、今年はれきりが多く  
 近くの水田で、鈴木さん待 忍に点住する計りに作付した水田は諦め、被害が軽減



津波でへドロがたい積りした田んぼの塩害を克服し、今季の稲刈りをする鈴木さん  
 =9月28日、仙台市宮城野区蒲生

# 井戸掘り有機農法で栽培

EM菌培養液やほか肥料  
 などを散布。井戸の「塩害耐  
 性微生物が8割以上つて  
 いるとされるEM菌をば  
 け、微生物の力を利用すれば、  
 の活用器具や生育を見守る  
 た。EM菌は昔々とした箱糞が  
 有機栽培への自信を深めた鈴  
 木さん。物質の支援もボラ  
 ン「ドロがあった箇所はかえ  
 くて生育が良かった。また塩  
 分濃度による差も見られ、水  
 を注ぎ込む用水路側は濃度が  
 薄まって生育が良く、逆に排  
 水路側は塩分がたまりやすか  
 ったため、草丈やもみ数が劣  
 ったと鈴木さん。品種によ  
 る違いは「ササニキが生育  
 劣眼と採算へ一入を而立き  
 品種は問題なかった。期  
 りを終え、収量、強にも手  
 砕している。



鈴木さんの田んぼに掲げられた「塩害対策実証試験圃場」の看板